

令和 8 年
伊豆市議会 9 月定例会

一 般 質 問

令和 8 年 9 月

令和8年伊豆市議会9月定例会一般質問者と質問事項

9月7日（月）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	4 小川 多美子	1 水難事故から身を守るための着衣泳法について	市 長 教育長	3
		2 ひなた公園にオアシスを	市 長	4
2	14 木村 建一	1 公共施設使用料等の値上げについて	市 長	5
		2 災害死者ゼロを目指す取り組みについて	市 長 教育長	5
3	11 三田 忠男	令和7年度に残された課題と来年度の予算編成方針について	市 長 教育長	7
4	8 波多野 靖明	1 農作物盗難被害の防止対策について	市 長	8
		2 公衆トイレの維持管理について		8
5	12 小長谷 順二	地域資源を活かした地方創生と、ふるさと納税・シティプロモーション戦略について	市 長	10

9月8日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	2 飯田 大	健康づくり施策と支援事業「伊豆市健康マイレージ」について	市 長	12
7	5 黒須 淳美	かかりつけ薬局を活かした健康支援の充実のために	市 長	13

9月9日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
8	13 森 良雄	1 修善寺駅西口の芝生広場について	市 長	22
		2 狩野川の清流を守ろう		22
		3 今年もアマモを刈り取りましたか		22
		4 オレンジゾーンについて		23
		5 ハラスメント対策について		23
9	1 尾垣 和則	災害発生時における市の対応について	市 長 教育長	15
10	10 青木 靖	避難所の施設整備の状況は	市 長	18
11	3 浅田 藤二	地域の担い手不足解消	市 長 教育長	20



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 4 番

議員名 小川 多美子

①

発言の種別	① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()	答 弁 を 求める者
	発 言 の 要 旨	
件 名	内 容	
1 水難事故から身を守るための着衣泳法について	暑い毎日が続く、川での水難事故のニュースが新聞やテレビで多く取り上げられています。プールと違い川では流れがあり、水深は一定でなく、足がつかず、思わぬ深みにはまってしまうこともあります。現代の子どもは水に触れる時間が極端に少ないといわれています。水の中で自分の体がどう動くか、足がつかない場所ではどうなるかという水中感覚（浮く、呼吸を確保する）を身につける機会が減っています。日頃から水に慣れていない子どもが、川という自然環境で事故のリスクが上がるのではないかと思います。水に触れる時間が少ないので川の危険性を直感的に察知できず、プールと同じ感覚で川に飛び込んでしまい、流されるなどのケースが後を絶たないといわれています。 これらのことを踏まえ、次のことを伺います。 ① 小学校や近隣の県立高校ではプールの授業があるようですが、中学校でプールの授業がないのはなぜでしょうか。 ② 小学校では民間委託のプールを利用していますが、往復の時間がかかるなど、授業時間が減ることはありませんか。 ③ 放課後水難という言葉があるようです。学校のプールがなくなった結果、子どもたちだけで身近な河川や用水路に行き、溺れるというケースのようですが、危険だからと遠ざけるのではなく、正しい	市長 教育長

	知識で水に触れさせることも大事だと思います。もし流された場合は、着衣泳法が役に立つと思います。服を着たまま、靴を履いたまま川に落ちると水着の時とは全く異なり、パニックに陥るのではないのでしょうか。泳げる子ほど溺れるという現実もあるようです。学校教育の中で着衣泳法を一度は体験しておくことが命を守るために極めて重要なことだと思います。学校では着衣泳法の授業を取り入れていないようですが、その理由を教えてください。 ④ 着衣泳法は単なる泳ぎの練習ではありません。近年多発しているゲリラ豪雨や洪水、休み中の事故から命を守るためなど、防災や安全教育と同等のものだと思います。着衣のままプールに入ると、衣服についているごみや糸くず、靴の泥などで水が汚れる、衛生面での問題や、ろ過装置が詰まってしまうなど、諸々の理由があるようですが、例えば市内の小学校1校のプールを利用してみるなど、検討の余地はありませんか。	
2 ひなた公園にオアシスを	ひなた公園が開園し、オープン当初は多くの人たちで賑わっていました。水辺では小さな子どもが、びしょ濡れになりながら裸足で水路を駆け回り、遊具の前には行列ができるほどの混みようでした。ゴールデンウィークも過ぎ、早くから夏の太陽が照りつけ始めると、人影もまばらになってきました。暑くて木陰に逃げようとも木陰はなく、手を洗いたくても近くに水道がありません。 次のことを伺います。 ① 木陰になるような、また、シンボルとなるような大きな木を植える考えはありませんか。 ② 日陰になるように、あずまやのようなものを作る予定はありませんか。 ③ 暑くて水を飲みたい場合もあります。広場に水道を増やす考えはありませんか。 ④ 水路の水はどこから引いていますか。 ⑤ 枯れた植栽が多く見受けられますが、水やりなどの管理はどのようにしていますか。	市長



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 8 年 8 月 20 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 番

議員名 木村 建一

①

発言の種別	① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20 分 ☒ 30 分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()	
	発 言 の 要 旨	答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 公共施設使用料等の値上げについて	① 公共施設の本質と役割をどのようにとらえていますか。 ② 施設の運営にかかる経費を使用料等で賄いますか。 ③ 改定による使用料等が約 930 万円の増になる予想のことですが、使用料等の改定以外の選択肢は検討されましたか。	市長
2 災害死者ゼロを目指す取り組みについて	災害発生直後から「本格的な公助」が被災地に行き渡り始めるのは、災害発生から約 72 時間後といわれています。つまり、この 72 時間は、行政からの支援が十分に届かない「空白の時間」でもあります。この「空白の時間」にどういう場面で災害に遭うのか、様々です。居住地周辺で生活しているときを想定して、行政が市民に求めていること、行政が準備していることをお尋ねします。 ① 「空白の時間」を生き抜くために、被災者に必要な水は 3 リットルいわれていますが市民への周知はどうですか。伊豆市の食料備蓄は、被災者の何パーセントを予想していますか。 ② 避難所ごとの段ボールなどのベッド、パーティションの数をお願いします。 ③ 指定避難所(学校施設を含む。)の空調設備の設置状況を伺います。 ④ 災害関連死を防ぐために、災害発生後 48 時間で TKB(トイレ、キッチン、ベッド)の迅速な供給を行える	市長 教育長

	日本にするために、市長は国に率先して意見を届けて いただきたい。所見を伺います。	
--	---	--



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 番

議員名 三田 忠男

①

発言の種別	① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 令和7年度に残された課題と来年度の予算編成方針について	令和7年度に残された課題と、来年度の予算編成方針について、以下伺います。 ① 来年度の予算編成方針は、令和7年度の各部署の重点事業について、各部内会議で残された課題や、令和8年度の事業進捗状況を踏まえて予算編成されるのか伺います。 ② 継続される事業と廃止される事業の判断は、どのような基準や過程を経て決まるのか伺います。 ③ 予算編成時、議会の要望や、各種団体からの要請、各区長等からの要望事項、市民各位の意見等、行政施策に反映されるのか伺います。 ④ 来年度予算で、市長、教育長が一番に取り入れたい事業について伺います。	市長 教育長



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 番

議員名 波多野 靖明

①

発言の種別		① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 農作物盗難被害の防止対策について	令和8年7月、伊豆市湯ケ島のわさび田で、約 3,500 本から 5,000 本の大量のわさびが盗まれる事件が発生しました。被害額は 300 万円に迫る可能性もあると報じられていました。切り口がきれいにそろえられていたことから、生産に詳しい者による犯行の可能性もあると指摘されています。また、全国各地においても、野菜や果物などの農作物が大量に盗まれる被害が相次いでいます。 農作物の盗難は、生産者に大きな経済的損失を与えるだけでなく、農家として営む意欲にも大きな影響を与える深刻な問題であります。特に、伊豆市のわさびをはじめとする農作物は、生産者の財産であるとともに、地域経済を支える重要な地域資源であり、世界農業遺産に認定されている「水わさびの伝統栽培」でもあります。 今回の農作物の盗難を生産者だけの問題とせず、警察や J A、関係機関と連携し、市として盗難被害の対策を講じる必要があると考えますが、農作物の盗難被害を防止し、農家を守るために、伊豆市として今後どのような対策を講じていく考えがあるのかお伺いいたします。	市長
2 公衆トイレの維持管理について	伊豆市には、修善寺温泉や土肥、天城をはじめ、多くの観光客が訪れる地域があり、観光地に設置されている公衆トイレは、来訪者が安心して快適に観光を楽しむために欠かすことのできない施設です。公衆トイレを清潔で快適な状態に保つためには、日常的な清掃をはじめ、トイレットペーパーなど消耗品の補充、設備の修繕、上	市長

	下水道や電気など、継続的な維持管理が必要となります。また、老朽化が進めば、さらに修繕に費用が必要になることも考えられます。 観光地として、誰もが安心して利用できる公衆トイレを維持していくことは大切ですが、その費用をすべて行政が負担するだけでなく、施設を利用した方にも、その維持管理に協力していただく考えはないか伺います。	
--	--	--



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月17日

伊豆市議会議長 様

議席番号 12 番

議員名 小長谷 順二

①

発言の種別	① ☒ 一般質問（ ☒ 一括 ☐ 分割）※発言予定時間（ ☐ 20分 ☒ 30分） ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論（ ☐ 反対 ☐ 賛成）④ ☐ その他（	
-------	---	--

(2) シティプロモーション戦略について

- ⑤ 本市がシティプロモーションに取り組む狙いと、その基本的な考え方は。
- ⑥ 市外・県外へ向けて、本市の魅力をどのようなターゲットに、どのような手法で発信していく考えか。
- ⑦ SNS や動画配信などデジタル媒体の活用状況と、その効果をどのように検証しているか。
- ⑧ ふるさと納税、観光振興、移住・定住、企業誘致などを一体的に推進するブランド戦略について、市長の考えは。

(3) 地域資源を生かした地方創生について

- ⑨ 地域資源を生かした地方創生を進める上で、本市の最大の強みをどのように認識しているか。
- ⑩ 温泉、自然、世界農業遺産「わさび」、食、歴史文化、スポーツ・アウトドアなどを組み合わせた高付加価値化をどのように進める考えか。
- ⑪ 地域事業者や観光事業者、地域づくり協議会と連携し、新たな地域ブランドや体験型コンテンツを創出する考えはあるか。
- ⑫ 地方創生を進める上で、ふるさと納税やシティプロモーションをどのように活用し、交流人口・関係人口・移住定住の拡大へ結び付けていく考えか。
- ⑬ 市長が考える「10年後の伊豆市のブランドイメージ」と、その実現に向けた戦略について伺う。



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月19日

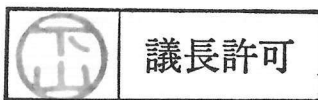
伊豆市議会議長 様

議席番号 2 番

議員名 飯田 大

①

発言の種別	① ☒ 一般質問 (☐ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☒ 20分 ☐ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 健康づくり施策と 支援事業「伊豆市 健康マイレージ」 について	健康日本 21(第3次)は、国民一人ひとりの主体的な健康づくりを促進するため、生活習慣改善と健康寿命延伸を重点にとらえた国民健康づくり運動です。 「伊豆市健康マイレージ」は、市民が日常生活の中で自主的に健康づくりに取り組むことを後押しする事業で、伊豆市と静岡県が協働して実施しています。 伊豆市では、生活習慣病予防方策として「減塩・運動・禁煙」に重点を置いた「げんきプロジェクト」を実施しており、「伊豆市健康マイレージ」では、「げ」「ん」「き」ポイントを含め、自分に合った目標を実践しポイントを貯める方法を推奨しています。また、「げんきプロジェクト」と連携して「野菜マシマシメニュー提供店」を利用すると、1ポイント獲得できる仕組みになっています。 「伊豆市健康マイレージ」を利用することにより健康・体力の維持増進が期待されます。 以下について伺います。 ① 健康マイレージの実施状況は、いかがですか。 ② 利用対象者を、20歳以上とした理由はありますか。 ③ 協力店舗(サービスが受けられる店舗・賞品提供店舗)確保は、どのような方法で登録されましたか。 ④ 「伊豆市健康マイレージ」事業の成果はいかがですか。 ⑤ 健康づくり施策で、成果が上がった事業はありますか。	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月20日

伊豆市議会議長 様

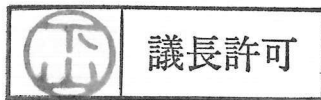
議席番号 5 番

議員名 黒須 淳美

①

発言の種別		① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 かかりつけ薬局を 活かした健康支援 の充実のために	本年7月と8月の新聞で、かかりつけ薬剤師の役割についての記事を目にしました。そこでは、令和8年6月の調剤報酬改定を機に、薬剤師による服薬管理だけでなく、実際に自宅での療養をどのように支えたかなど、これまで以上に具体的で、より身近な支援を行う方向へ変わってきていることが紹介されていました。 私は、薬局は処方された薬を受け取りに行く場所というくらいの認識でいましたが、記事をきっかけに調べてみると、薬局は薬を受け取るだけではなく、薬剤師による薬の飲み合わせや残薬の確認、健康相談、在宅での服薬支援など、地域の健康を支える役割を担っていることを知りました。 こうした役割を持つ薬剤師や薬局を、もっと市民の身近な健康資源として活用できるのではないかと考えます。 そこで、実際に地域の薬剤師の方にお話を伺う機会を持ち、日頃の業務や市民との関わりについてお聞きしました。 お話の中で特に印象に残ったのが、「もっと薬局を頼ってもらいたい」「コンビニ感覚で来てもらいたい」という言葉です。薬局の窓口で「ちょっと休ませて」と気軽に立ち寄る方や、子育て世代から「今、開いている病院はありますか」などの相談の電話が入ることもあるそうで、薬局と住民との日常的な関わりを知ることができ、	市長

	小児科の受診先や時間が限られている伊豆市においては、こうした身近に相談できる存在は、子育て世代にとっても、安心につながるのではないかと感じました。 さらに、「いつも行く薬局に、いつもの薬剤師さんがいることが、顔の見える関係や信頼につながり、その積み重ねが、かかりつけ薬局やかかりつけ薬剤師につながっていく」と伺い、こうした薬局や薬剤師の力を、市民の健康を支える地域資源として、市として、もっといかしていくことができるのではないかと考え、以下について伺います。 ① 今回の調剤報酬改定を含め、薬剤師の役割がより地域における健康支援へと広がっていることについて、伊豆市はどのように認識していますか。 ② 現在、伊豆市では薬局や薬剤師と、健康相談、子育て支援、在宅医療、介護予防、そして災害時の支援など、具体的にどのような連携を行っていますか。 ③ 今後、薬局や薬剤師を地域の健康資源として活用し、市民への周知や健康相談の機会を設けるなど、健康支援につなげていく考えはありますか。また、現在検討している取組はありますか。	
--	--	--



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月17日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 番

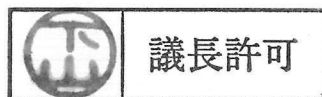
議員名 尾垣 和則

①

発言の種別		① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 災害発生時における市の対応について	近年、全国各地で地震、豪雨、土砂災害など、これまでの想定を超える自然災害が発生しており、当市においても、南海トラフや活断層による地震、台風や集中豪雨、土砂災害等の災害を想定しておく必要があります。 災害が発生した際に、市民の生命を守ることは行政の最も重要な使命の一つであり、その為には災害が発生してから対応するのではなく、「災害が起こる前に、どこまで具体的な備えを整えておくことが出来るか」という視点が重要だと考えます。 そこで以下、市の考えを伺います。 (1) 避難所となる学校体育館の空調設備について 令和7年12月議会における私の質問に対し、教育長から答弁を頂きましたが、その後、9か月が経過しております。現在までの進捗状況を伺います。 ① どの学校について検討が進んでいますか。 ② 整備に向けた具体的な計画がありますか。(非常用電源の整備も含めて。) (2) 災害時の「水」の確保について 市では、給水車を導入していることは承知しており、これは非常に重要な備えであると評価しておりますが、現在の給水体制だけで十分かという視点で伺います。 ③ 市内で大規模災害が発生した場合、現在の給水車や給水拠点などの体制で、何人程度の市民に、何日程度対応できると想定していますか。	市長 教育長

	④ 今後給水車を増車する考えはありますか。 ⑤ 水源の確保のため、「給水車+井戸+ろ水機+備蓄水」というように、複数の手段を組み合わせた災害時の水の確保についての考えはありますか。 ⑥ 高齢者や障害のある方など、水を取りに行くことが難しい方の支援をどのように考えていますか。 (3) 災害時の「電気・電力」の確保について 現在、市内の防災倉庫等には発電機が配備されていると承知しておりますが、これだけに依存するのではなく、「太陽光発電設備+蓄電池+既存の発電機」を組み合わせる「電源の多重化」が非常に重要という視点で伺います。 ⑦ 防災倉庫や避難所などに太陽光発電設備や蓄電池を新規整備することについて、市としての考えはありますか。 ⑧ モデルとなる防災拠点をまずは選定して、先行ですすめることについて考えはありますか。 (4) 「在宅避難」について 大規模災害が発生した場合、避難所ですべての市民を受け入れることには限界があります。自宅が安全であり、かつ自宅の安全性が確認される場合は、無理に避難所へ移動せず、自宅で生活を継続することも選択肢であるという視点で伺います。 ⑨ 市として、「在宅避難」を防災対策の中でどのように位置づけていますか。 ⑩ 在宅避難者に対して、水・食料・簡易または携帯トイレ・医療・防災情報等の支援を、どのように行いますか。 ⑪ 避難所に来てない市民を、どのように把握しますか。 (5) 「活断層」について 伊豆半島周辺には活断層が存在しており、北伊豆断層帯の中で、伊豆市に活断層あり、直下型地震のリスクがあることを市民に正しく理解していただくことが必要という視点で伺います。 ⑫ 市として、活断層による地震の危険性をどのように認識していますか。また、その危険性や対処方法	
--	---	--

	等について、市民に現在どのような周知を行っていますか。 ⑬ 現在のハザードマップ等に活断層の情報をわかり易く重ね合わせた「伊豆市版・活断層防災マップ」の作成などを行い、市民に周知する考えはありますか。 (6) 「広域連携・地域間協定」について 大規模災害が発生した場合、伊豆市だけですべての市民を支えることは困難になります。そのため、平常時から近隣自治体との連携を強化しておくことが重要であり、現在、市では既に近隣市町との災害時相互応援協定等がありますが、このことについて伺います。 ⑭ 現在締結されている災害時の相互応援協定は、具体的にはどのような内容ですか。 ⑮ 既存の協定について、実際に災害が発生した場合に機能するかや、定期的な訓練や検証をおこなっていますか。	
--	--	--



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月20日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 番

議員名 青木 靖

①

発言の種別		① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20 分 ☒ 30 分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者	
件 名	内 容		
1 避難所の施設整備の状況は	災害対策基本法第42条の規定に基づき定められた「伊豆市地域防災計画」には、～災害死者ゼロを目指して～と記され、本編は共通対策編、地震対策編、津波対策編、風水害対策編、火山災害対策編、大火災対策編、大規模事故対策編が定められています。また、「地域防災計画の内容は、社会環境の変化、施設整備等の状況を踏まえて、絶えず見直しを行い、実態に即したものとすることとされている」と説明されています。 伊豆市では防災機能を備えたひなた公園と伊豆市危機管理センターが完成しましたが、一方で指定避難所の整備、指定緊急避難場所の適地の確保と避難路の整備、自治会・町内会単位での避難所の施設の整備などは、努力義務が課されている状態にあると理解しています。 以下、質問します。 ① 伊豆市地域防災計画の共通対策編第2章災害予防計画の第6節「住民の避難体制」では、市が担う事柄が規定されています。2「避難地・避難路の安全性の向上」では、「市は、地域的な特性に応じた避難施設、避難路等の整備推進に配慮するよう努めるものとする」とされ、3「避難所の指定、整備」では、(1)ア「市は、…地域の特性や過去の教訓、想定される災害、…等を踏まえ…避難者が避難生活を送るために必要十分な避難所をあらかじめ指定し、平時から…住民への	市長	

周知徹底を図る」とされています。この計画に基づいた、現在の進捗状況はいかがですか。避難所施設の現状をどう捉え、どのように整備されているか伺います。

- ② 昨年の9月定例会で、「大規模災害への備えを確認する」との一般質問を行った際、危機管理監から「現状の避難所については決して良好な環境とは言えないため、防寒・防暑対策等の環境改善が必要と考えております」との回答がありました。市長からも「指定避難所以外の選択肢をたくさん準備しておきたい」と発言がありました。

現実的に、大東地区では指定避難所の旧小学校の体育館が雨漏りしている、そこに避難することになっている、という現状もお伝えしました。その後、地元小学校区から陳情書が議会あてに提出され、「伊豆市指定の大東地区避難所が、避難所としての機能が著しく欠落をしており災害時や、豪雨・酷暑・厳寒時に避難所として利用することが不可能です」とし、陳情項目は、「1 大東地区避難所（旧大東小学校体育館）の屋根雨漏り改修工事」、「2 大東地区避難所の空調設備の設置」、でした。今年5月には総務経済委員会で現地視察も行い、他の指定避難所とともに現状の確認をした経緯があります。一年前から避難所の環境はどの程度「良好」に近づいたのか伺います。

- ③ 議会からの提案があった場合、大東地区の避難所の施設の整備等をどのように対応するか伺います。
- ④ 大東地区以外の避難所の施設についても、財政状況や公共施設再配置との関連も含め、今後の方向性を伺います。
- ⑤ 今後の防災関連事業の財源確保について、国土強靱化の取組みや、防災庁の設置に伴う「事前防災の推進」から、伊豆市として国の財源を活用できる可能性など、財源の見通しを伺います。



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月18日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 番

議員名 浅田 藤二

①

発言の種別	① ☒ 一般質問 (☐ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()	
	発 言 の 要 旨	
件 名	内 容	
1 地域の担い手不足 解消	賢く縮む(スマートシュリンク)という考え方が、地方自治体で注目されています。 伊豆市の第3次総合計画にも「守りながら変わり続けるまち 伊豆市」とあり、人口減少や少子高齢化を前提にして、行政の規模を小さくしていくけれども、同時に住民の幸福度(ウェルビーイング)の向上をめざしていくというものです。 先日、地域づくり協議会を対象に「つながりづくりと地域の未来」と題して、地域づくり課で研修会を開催していただきました。 印象に残った言葉に、「地区の子どもの名前が全員呼べる大人」、「あいさつの手前に知り合うがある」、「担い手不足は人の不足が要因ではなく人のつながりの不足が要因」 などがありました。 これから地域の担い手不足が進み、地方に住む私たちが、都会のように隣人とのつながり(コミュニティー)が薄れ、コミュニティーが希薄化していけば、地震の時や台風の時もみんなで助け合えるつながりが薄れてきてしまいます。 地域の担い手不足解消は、私たち大人が、どれだけ子どもたちと関われるか、特に中学生世代と関わる機会の創出が必要と思っています。 地域の担い手不足、それに伴う人口減少によるコミュニティー不足の対策として、今後どのように考えているのか伺います。	
		答 弁 を 求める者 市長 教育長

	① 地域のつながりづくりにおいて、地域づくり協議会の役割は大きいと思います。発足から 10 年以上が経過し、これからの地域づくり協議会の展開、展望について伺います。 ② 地域の担い手づくりの観点から、地域と学校のつながりの重要性はさらに増してくると思います。現在とこれからの取り組みについて伺います。 ③ お祭りの復活や伊豆市の誇る自然環境や歴史、風土をいかして事業展開するなど、移住してきたみなさんが、積極的に活動されています。地域とのつながりを深めることで、担い手不足解消のヒントにつながるのではないかと考えますが、ご所見をお伺いします。	
--	--	--



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和8年8月19日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13 番

議員名 森 良雄

①

発言の種別		① ☒ 一般質問 (☒ 一括 ☐ 分割) ※発言予定時間 (☐ 20分 ☒ 30分) ② ☐ 質疑 ③ ☐ 討論 (☐ 反対 ☐ 賛成) ④ ☐ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1 修善寺駅西口の芝生広場について	修善寺駅西口の芝生広場の補修についての質問は何回かしています。 6月定例会では、現在の芝生への目土は、有限会社山竹種苗園とのことでした。せっかくの芝生広場です。きれいな芝生の広場にしませんか。できれば目土を入れかえると良いでしょう。この目土は芝生広場としては不適格です。石の粉のような目土です。保水性がなく、芝の生育には不適格です。盆栽を育てる方にはよろこばれるかもしれません。 ① 目土を入れ替える考えはありませんか。 ② 利用者に喜ばれる芝生広場にしませんか。 市長の考えをお聞きしたい。	市長
2 狩野川の清流を守ろう	狩野川の清流を守りましょう。清流が泡を吹いていては話になりません。泡は見えないという議員もいますが、私にはよく見えます。市長もぜひ泡を見つけてください。 狩野川の泡について、清流を取り戻す対策を伺います。	市長
3 今年もアマモを刈り取りましたか	土肥の海水浴場では毎年、海藻のアマモを刈り取ります。刈り取りの実態を伺います。 ① 刈り取った量(面積、重量)はどのくらいですか。 ② 刈り取り業者はどこですか。 ③ 刈り取ったアマモは、運搬を含め、どのように処分しましたか。	市長

	④ マニフェストは、どこが保管していますか。 ⑤ アマモの刈り取りは、必要ですか。 ⑥ 自然保護の観点からは、アマモの刈り取りは中止すべきではありませんか。 ⑦ 自然保護について、市長はどのように考えていますか。	
4 オレンジゾーンについて	8月9日の静岡新聞 21 ページに、「いのち守る・防災しずおか」として、伊豆総合高校土肥分校の活動が取り上げられていました。そこで、南海トラフ地震のオレンジゾーンについての説明がありました。最大 10 メートルの津波が最短 6 分で到達し、建物の損壊は半壊を含めて 3,700 棟、死者は 1,400 人と推定される。とあります。 新聞記事では、今年 4 月 1 日現在、土肥地区の人口は 2,920 人とありますが、 ① オレンジゾーンには何人の方が住んでいますか。 ② 新聞では、被災は津波のように書かれていますが、伊豆市では南海トラフ地震で被災する方は、津波ととらえていますか。 ③ 今度の熊本地震では今のところ津波での被災は報道されてません。伊豆市では地震で被災されるとは考えていませんか。 ④ 南海トラフ地震に対して、伊豆市の対策はありませんか。 ⑤ 津波対策はどのようなものがありますか。 ⑥ オレンジゾーン内の建物では、どのような地震対策がされていますか。 ⑦ 地震の対策ごとの対応はどのくらい進んでいますか。	市長
5 ハラスメント対策について	ハラスメントの関連記事が、毎日のように報道されています。パワハラやセクハラはあってはなりません。 ハラスメント対策について、市の考えを伺いたい。	市長